

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	井原市地域住宅計画
②都道府県名	岡山県
③計画作成主体	井原市
④計画期間	平成27年度～令和元年度
⑤計画の目標	地域特性を生かした良質で利便性の高い住宅・住環境づくりを進め、若者から高齢者まで、誰もが安心して住み続けられる快適な定住空間の形成に努める。 空家等の実態調査により現況を把握し、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく対策につなげていく。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	井原市において評価を行った（令和2年8月）
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「市営住宅の長寿命化対策の推進（長寿命化計画の達成率の増加）」 定 義：中層耐火構造のうち長寿命化のため改善事業を実施したものの割合 評価方法①：（改善事業実施済棟数）／（対象棟数） 【屋根、外壁、設備等の改修率】 H25 0/17棟 R01 17棟/21棟 結 果：従前値：0%（平成27年度）⇒目標値：81（令和元年度）⇒実績値：52.9% 結果の分析：財源の関係で事業実施を先延ばししたものがあため、目標を下回った。 評価方法②：（改善事業実施済棟数）／（対象棟数） 【屋外老朽配管の整備率】 H25 0/6住宅 R01 3住宅/7住宅 結 果：従前値：0%（平成27年度）⇒目標値：43（令和元年度）⇒実績値：43.0% 結果の分析：概ね計画どおり実施できた。</p> <p>指標②：「空家対策の推進」 定 義：空家等実態調査の実施率 評価方法：空家等実態調査 結 果：従前値：0%（平成27年度）⇒目標値：100（令和元年度）⇒実績値：100% 結果の分析：平成28年度に市内全域の空家等実態調査を行い、老朽度・危険度判定を行い空家の実態を把握でき目標を達成した。</p>
⑧結果の公表方法	井原市ホームページで公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>（事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画に反映すべき事項や目標を達成するための措置等を記載。地域住宅協議会等において協議を行った場合はその旨を記載。）</p> <p>次期計画も引き続き地域特性を生かした良質で利便性の高い住宅・住環境づくりを進め、若者から高齢者まで、誰もが安心して住み続けられる快適な定住空間の形成を実現するため、前計画で実施できなかった事業を継続し、市営住宅の外壁改修等の施策を実施し長寿命化を図ることとする。</p>
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。